

# 削減ポテンシャルを最大限引き出すための 方策の検討の進め方について

## 検討項目

---

- ① 費用対効果の高い排出削減対策導入の阻害要因の分析(阻害要因分析)
- ② 排出削減ポテンシャルを最大限引き出すための方策検討
- ③ 排出削減ポテンシャルの精査
- ④ 排出削減ポテンシャルの実現に要するコストと経済への影響分析(経済影響分析)

## 検討項目①: 阻害要因分析

---

- 昨年度、阻害要因に関するアンケート調査を実施<sup>1</sup>したところ、「投資の優先度」、「情報不足」が主な阻害要因であるという結果が得られた。
- 今年度調査では、これらの阻害要因について、アンケート調査及びヒアリング調査を通じて、詳細な分析を実施。

## 検討項目②: 排出削減ポテンシャルの実現方策の検討(1/2)

- 阻害要因分析の結果を踏まえ、**阻害要因の解消のための方策を検討。**

### 【情報不足について】

(例)

- ✓ 「誰に」「どのような方法で」情報提供することが望ましいか
- ✓ 政府としてどのような支援・対応策が考えられるか

### 【投資の優先度について】

(例)

- ✓ 初期投資をどう抑えるか
- ✓ 前倒しの設備更新をどう促進するか
- ✓ 政府としてどのような支援策・対応策が考えられるか

## 検討項目②: 排出削減ポテンシャルの実現方策の検討(2/2)

### ■ 排出削減対策導入の誘因を強化するための方策を検討。

- ✓ これまでの温暖化対策(自主的取組、規制、税制、市場メカニズム等)について、排出削減対策の導入への誘因としての効果を分析しつつ、既存の対策・施策の強化や新たな対策・施策の導入について検討する。
- ✓ 対策・施策の検討に当たっては、「革新的エネルギー・環境戦略」(平成24年9月14日エネルギー・環境会議)、「2013年以降の対策・施策に関する報告書」(平成24年6月中央環境審議会地球環境部会)等を踏まえながら、検討を行う。

## 検討項目③:削減ポテンシャルの精査

---

- 中央環境審議会地球環境部会等における指摘を踏まえ、**削減ポテンシャルの精査を実施**する。

(指摘内容)

- ✓ 費用対効果の高いにもかかわらず導入されていない排出削減対策が多く存在するというのは本当か
- ✓ データを更新しながら、引き続き削減ポテンシャルを明らかにすることが必要

- 削減ポテンシャルの精査は、以下の観点から実施する。

- ✓ 阻害要因分析の結果反映
- ✓ 業種毎のエネルギー用途構成との整合
- ✓ ポテンシャル診断機関・設備メーカーの活用を通じたデータの充実化

## 検討項目④: 経済影響分析

- 中央環境審議会地球環境部会等における指摘及び「地球温暖化対策の主要3施策について」(平成22年12月28日地球温暖化問題に関する閣僚委員会)を踏まえ、**排出削減ポテンシャルの実現に要するコストと経済への影響を分析**する。

(指摘内容)

- ✓ 削減ポテンシャルを実現するためのコストや経済影響を示すのは有益

(「地球温暖化対策の主要3施策について」(抜粋))

- ✓ 国内排出量取引制度に関しては、我が国の産業に対する負担やこれに伴う雇用への影響(中略)等を見極め、慎重に検討を行う。

- 昨年度の「国内排出量取引制度の課題整理に関する検討会」における分析を基に、以下の観点も踏まえて、GDP成長率、個別業種の付加価値額及び雇用への影響等について分析を行う。

- ✓ 削減ポテンシャルを精査した結果の活用、データの見直し・充実化により修正されたMACカーブを使用。
- ✓ 革新的エネルギー・環境戦略や2013年以降の対策・施策に関する報告書を踏まえて、マクロフレームを設定。
- ✓ 企業だけでなく、家計への影響についても併せて分析を実施。